

703 昭和6年9月7日

在奉天林総領事より
幣原外務大臣宛

浜口前首相死去につき臧遼寧省政府主席、王

遼寧特派員よりの弔意伝達方依頼について

普通第七二三号

(九月十二日接受)

昭和六年九月七日

在奉天

総領事 林 久治郎(印)

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

浜口前首相薨去ニ付キ弔意伝達方ノ件

本件ニ関シテ今般遼寧省政府主席臧式毅及遼寧特派員王鏡

實両氏ヨリ別紙書翰写ノ通弔意伝達方依頼ノ次第アリタル
ニ付浜口前首相遺族ニ対シ右伝達方可然御取計ヒ相成度シ
敬啓者前聞

貴国前総理大臣浜口閣下因病逝世老成凋謝名宿云亡靈耗驚
伝不勝悼惜之至專函致唁併希転達関係方面為荷此致

林総領事台鑒

臧式毅 拝啓

大中華民國二十年九月一日

王鏡寰

日本外交文書 一九三〇年ロンドン海軍會議 下 終

付録 一九三〇年ロンドン海軍會議(上・下) 日付索引

付録 日付索引

※文書番号297以降ガ「下」ニ属ス

事項 番号	文書 番号	電信 番号	発・受 信者	件	名	頁
----------	----------	----------	-----------	---	---	---

一	1	昭和2年12月23日	田中 在外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛（電報）	仏国側よりポール・ボンクール妥協案を基礎とする意見交換方申入に対し海軍側諒承について	……	1
---	---	------------	-----------------------------------	--	----	---

付記一	大正十五年十一月三日午後海軍大臣官邸における財部海軍大臣と仏国大使クロードルとの会談概要	……	1
-----	--	----	---

二	昭和二年十二月十日在仏国大使館付古賀海軍武官より大角海軍次官及び野村軍令部次長宛機密三五番電 海軍問題につき協力したき旨の仏国軍令部第二局長の打診に關し請訓について	……	3
---	---	----	---

三	同年十二月十二日在パリ連盟海軍代表より大角海軍次官及び野村軍令部次長宛機密三番電 仏国海軍と出来る限り意見交換を行なう方得策と思われる旨具申について	……	5
---	---	----	---

四	同年十二月十六日在仏国大使館付古賀海軍武官より大角海軍次官及び野村軍令部次長宛機密三六番電 仏国軍令部第二局長より聴取したその後の情報報告について	……	6
---	--	----	---

五	同年十二月大角海軍次官より在仏国大使館付古賀海軍武官宛電報 仏国海軍当局に対する応酬ぶり訓令について	……	7
---	---	----	---

六	軍縮準備委員会における海軍問題の経緯	……	8
---	--------------------	----	---

三	田中 在外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛（電報）	軍縮準備委員会における海軍軍備制限の方針に關する訓令について	……	9
---	-----------------------------------	--------------------------------	----	---

出淵 在外務次官 在本邦 在仏国大使 会談録	軍縮準備委員会に仏国より提出の妥協案への好意的配慮方要望について	……	10
------------------------------------	----------------------------------	----	----

4	昭和3年2月28日		在本邦英国臨時代理大使より 田中外務大臣宛	連盟軍縮準備委員会に主力艦問題を提起の意向 について	11
5	昭和3年3月3日	二一	田中外務大臣より 在英国松井大使宛（電報）	連盟軍縮準備委員会に主力艦問題を提起の意向 の旨英国側より通報について	12
6	昭和3年3月26日	三八	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛（電報）	軍縮準備委員会における英国代表の主力艦噸数 引下及び艦齡延長に関する提案について	12
7	昭和3年3月27日	普通連本 公二〇一	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	軍縮準備委員会における主力艦問題に関する英 国代表演説抜萃及び書翰送付について	13
8	昭和3年8月7日	条三機密 二〇五	吉田外務次官より 大角海軍次官宛	軍縮準備委員会にて英仏海軍間妥協成立に關す る英国側よりの内容提示について	16
9	昭和3年8月9日	八七	在イタリア松田大使より 田中外務大臣宛（電報）	英仏海軍協定に関する伊国新聞論調について	19
10	昭和3年8月11日	官房機密 九七二	大角海軍次官より 吉田外務次官宛	英仏海軍協定についての対英回答方に關し海軍 省の意見通報について	20
11	昭和3年8月23日	一三五	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛（電報）	英仏海軍協定への対処方に關し請訓について	20
12	昭和3年8月25日	九一	田中外務大臣より 在英国佐分利臨時代理大使宛（電報）	英仏海軍協定に関する対英回答の要領通報につ いて	21
13	昭和3年8月25日	一一八	田中外務大臣より 在バリ佐藤連盟事務局長宛（電報）	英仏海軍協定への対処方に關し回訓について	21
14	昭和3年9月4日	二〇二	田中外務大臣より 在米田沼田臨時代理大使宛（電報）	英仏海軍協定に関する我が対英回答内報方につ いて	22

15	昭和3年9月4日	二〇	田中外務大臣より 在ジュネーブ佐藤連盟事務局長宛 （電報）	英仏海軍協定に関する我が回答仏国側へ通告方 について	22
16	昭和3年9月4日	九八	田中外務大臣より 在英国佐分利臨時代理大使宛（電報）	英仏海軍協定に関する対英回答の取扱方につ いて	23
17	昭和3年9月10日	機密 二二五	吉田外務次官より 大角海軍次官宛	英仏海軍協定に關し英仏両国側へ回答済の旨通 報について	23
18	昭和3年9月28日	機密公 四八七	在米田沼田臨時代理大使より 田中外務大臣宛（電報）	英仏海軍協定に関する米国政府の対英回答送付 について	24
19	昭和3年9月28日	一九一	田中外務大臣より 在仏田安達大使宛（電報）	英仏米三國間に軍縮商議行わるる場合の措置方 について	34
20	昭和3年10月6日	一五五	田中外務大臣より 在英国佐分利臨時代理大使宛（電報）	連盟権限内の海軍軍縮問題審議への疑義に鑑み 英仏協定への英国の意向探査方について	35
21	昭和3年10月19日	三六五	在米田沼田大使より 田中外務大臣宛（電報）	休戦記念日における大統領の演説及び巡洋艦建 造に關する海軍長官の声明について	35
22	昭和3年11月(16)日	合八九	田中外務大臣より 在米田沼田在仏田安達各大使宛 （電報）	海軍關係諸問題に關する情報入手方訓令につ いて	36
23	昭和4年2月15日				

一	24	昭和4年2月18日	七五	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	海軍軍縮会議開催問題及び中国問題に関するチ エンバレン外相との会談について	37
一	25	昭和4年2月22日	一〇九	在英国松平大使より 田中外務大臣宛	ハワード駐米大使の声明に関連した英国外務省 の軍縮関係コミュニケーション送付について	38
一	26	昭和4年3月13日	七五	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	五国間海軍軍縮会議開催に関する情報内査方に ついて	40
一	27	昭和4年3月13日	四四	田中外務大臣より 在仏国安達大使宛(電報)	海軍軍縮会議開催の風説に対し英仏当局者より 否定について	39
一	28	昭和4年3月15日	一〇八	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	海軍軍縮会議の風説を当局者否定について	40
一	29	昭和4年4月(7)日	一〇八	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	来るべき軍縮準備委員会における米国の方針に 関する大統領の新聞記者への談話について	41
一	30	昭和4年4月22日	四九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会におけるギブソン米国代表の声 明要旨について	41
一	31	昭和4年4月23日	五二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン声明に引き続き日英仏伊及びソ連各代表 の行なった声明要旨について	42
一	32	昭和4年4月23日	五三	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン米国代表の声明への対処方に関し請訓 について	44
一	33	昭和4年4月23日	普通公 二七四	在米出淵大使より 田中外務大臣宛	軍縮準備委員会におけるギブソン米国代表の声 明全文送付について	45
一	34	昭和4年4月(24)日	一二三	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン米国代表の声明に対する新聞論調及び 國務長官の記者会見の要旨について	53
一	35	昭和4年4月25日	一二九	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン米国代表の声明に対する新聞論調につ いて	54
一	36	昭和4年4月(26)日	一二七	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン米国代表の声明に対する新聞論調につ いて	54
一	37	昭和4年4月26日	一三一	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会の性格に鑑み比率問題の根本的 論議は他日に譲るを得策とすべき旨稟申につい て	55
一	38	昭和4年4月27日	五七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会における海軍問題の処理方に 関しギブソン及びカッペンダンとの談話につい て	56
一	39	昭和4年4月27日	五八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会における海軍問題の処理方に 関する折衝とこれに対し執るべき態度請訓につい て	59
一	40	昭和4年4月27日	一六	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	軍縮準備委員会におけるギブソン米国代表の声 明に対する回答方に関し回訓について	61
一	41	昭和4年4月30日	一三一	在仏国河合臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン米国代表の声明に対する新聞論調につ いて	62
一	42	昭和4年5月3日	六二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	英米直接交渉及び比率問題に関するギブソンと の会談について	62
一	43	昭和4年5月5日	一四一	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	米国の海軍力測定案に対する今後の処理方に ついて	65
一	44	昭和4年5月6日	六五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会におけるギブソン米国代表の声 明に対する各国代表の発言について	66
一	45	昭和4年5月7日	一四三	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	別電 五月六日在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より ギブソン米国代表の声明に対する説明	67
一	46	昭和4年5月(9)日	一五一	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮の諸問題に関するキャッスル國務次官補と の懇談について	68
一					ギブソン米国代表の声明後の米新聞論調につ いて	70

二	71	昭和4年6月25日	二二〇	田中外務大臣宛(電報)	英米内交渉につき日本において主動的立場を執るようドーズ米國大使より提議について	101
二	70	昭和4年6月24日	二二五	田中外務大臣宛(電報)	英米内交渉について	100
二	69	昭和4年6月24日	二二四	田中外務大臣宛(電報)	英米内交渉に日本参加方提議に関するドーズ大使との会談について	98
二	68	昭和4年6月22日	一四七	田中外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	海軍軍縮問題に関する英米伊三国大使との会談について	98
二	67	昭和4年6月21日		大臣会見録	軍縮問題に関する田中外相のイタリア大使との会談について	97
二	66	昭和4年6月21日	二二二	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮問題協議方に関するキャッスル次官補との会談について	96
二	65	昭和4年6月(20)日	二〇七	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相の訪米説に関するシカゴ・デイル・ニュース記者エドワード・ペルの談話について	95
二	64	昭和4年6月(20)日	二〇六	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮促進に関するドーズ大使の演説に対する新聞論調について	94
二	63	昭和4年6月(20)日	二〇五	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	ビルグリムス・クラブにおける軍縮促進に関するドーズ大使の演説大要について	93
二	62	昭和4年6月19日	二〇八	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	英國首相訪米説に関するドーズ米國大使の談話について	92
二	61	昭和4年6月(19)日	二〇四	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮問題などに関するヘンダーソン新外相との会談について	91
二	60	昭和4年6月(18)日	二〇一	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	海軍問題に関する英米間予備交渉の開始に際し発表の英首相コミュニケについて	91
二	59	昭和4年6月17日	二〇二	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相との会談内容などに関するドーズ大使の談話について	89

一	47	昭和4年5月14日	八八	田中外務大臣より 在仏國安達大使宛(電報)	軍縮準備委員会における米國声明に対する任國の意向確め方訓令について	71
一	48	昭和4年5月14日	一〇〇	田中外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	英國側の態度打診方訓令について	71
一	49	昭和4年5月15日	一五七	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	比率問題及び英米間協議内容の日本への連絡方に関するチェンバレン外相との会談について	72
一	50	昭和4年5月17日	一五七	在仏國安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	海軍軍縮会議に関するベルトロローの内話について	73
一	51	昭和4年5月17日	四二	在イタリア松田大使より 田中外務大臣宛(電報)	海軍軍縮会議に関するグランディ外相との会談について	74
一	52	昭和4年5月27日	普通 二九〇	在英国松平大使より 田中外務大臣宛	平和主義者の軍備縮小宣言書及びこれに対する三大政党首領声明書について	74
一	53	昭和4年6月1日	一八九	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	海軍軍縮の必要を強調した大統領の演説要旨について	77
付記一 五月三十日の米國大統領演説要旨						78
二 右に関する國務長官の声明						83
二	54	昭和4年6月12日	一九二	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	ドーズ米國大使の着任を契機とする軍縮交渉展開への対応策準備方申進について	85
二	55	昭和4年6月12日	一九三	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相訪米説に関するリンゼイ外務次官の言明について	86
二	56	昭和4年6月12日	二〇二	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮問題への米國の方針及び比率問題に関するスチュムソン國務長官との会談について	86
二	57	昭和4年6月13日	二〇五	在米出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮問題に関する英國大使の意見について	88
二	58	昭和4年6月(15)日	一九八	在英国松平大使より 田中外務大臣宛(電報)	ドーズ米國大使との会談に関するマクドナルド首相の談話について	89

89

二	114	昭和4年8月9日	九一	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	日本の補助艦比率要求についてのフランス各紙の報道に関する事情回示方について	158
二	113	昭和4年8月9日	三〇三	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英国側の誤解を避けるため今暫らく英米間の交渉成行を見守りたき旨稟請について	157
二	112	昭和4年8月8日	一九二	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	マクドナルド、ドーズ間協定案に対する政府の所見伝達方について	156
二	111	昭和4年8月7日	九一	幣原外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	比率問題に関する米国の底意探知の為ギブソン大使と懇談方訓令について	155
二	110	昭和4年8月7日	二九一	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日本の補助艦比率要求に関するフランス各紙の報道について	154
二	109	昭和4年8月7日	三〇八	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に関するキャッスル國務次官補との会談について	153
二	108	昭和4年8月7日	三〇七	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間予備交渉への大統領の希望条件に関するキャッスル國務次官補の内話について	152
二	107	昭和4年8月2日	三〇一	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に関する我が方主張を説明方訓令について	152
二	106	昭和4年8月2日	一八八	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	伊両国へ連絡の有無回報方について	152
二	105	昭和4年8月2日	二九三	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相とドーズ大使間の交渉の一時停頓について	151
二	104	昭和4年8月(日付不明)	官房機密(二)	山梨海軍次官より 在ロンドン加藤代表、在英国島津、在米国坂野各大使館付海軍武官宛(電報)	軍縮に関する海軍側の方針伝達について	149
二	103	昭和4年7月31日	二九九	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間軍縮商議の進展状況に関するニューヨーク・タイムス特電の報道について	148
二	102	昭和4年7月31日	二八六	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相とドーズ大使間の交渉進展の経過について	147
二	101	昭和4年7月30日	二八四	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英国側の態度に関する外務省アメリカ局長クレイギーとの会談について	145
二	100	昭和4年7月(27)日	二九一	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー大統領の建艦延期声明に対する新聞論調について	145
二	99	昭和4年7月(27)日	二七六	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相の軍縮声明に対する新聞論調について	144
二	98	昭和4年7月26日	二八七	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相の造艦中止声明に関するキャッスル國務次官補との会談について	143
二	97	昭和4年7月(26)日	二七九	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	巡洋艦三隻建造延期に関する大統領の声明要旨について	142
二	96	昭和4年7月(26)日	二七三	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相の巡洋艦建造中止声明に対する新聞論調について	141
二	95	昭和4年7月(25)日	二七二	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相の軍縮問題に関する声明の概要について	140
二	94	昭和4年7月25日	官房機密九五	山梨海軍次官より 在英国島津、在米国坂野各大使館付海軍武官宛(電報)	軍縮會議全般に亘る専門的対策に関する海軍側訓令について(二)	138
二	93	昭和4年7月25日	二七四	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ドーズ大使より軍縮商議の基礎に関するマクドナルド首相書翰及び米國政府訓電内示並びに比率問題に關し懇談について	136
二	92	昭和4年7月25日	二七六	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー大統領の造艦中止声明について	135

二	139	昭和4年9月16日	三五九	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米仮協定の成立及び軍縮会議開催日程などに 関するマクドナルド首相との会談について	185
二	138	昭和4年9月16日	三五八	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	182
二	137	昭和4年9月15日	三五五	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	181
二	136	昭和4年9月15日	三三八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	180
二	135	昭和4年9月13日	三五二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	179
二	134	昭和4年9月13日	三五〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	178
二	133	昭和4年9月12日	三四七	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	177
二	132	昭和4年9月4日	三二六	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	176
二	131	昭和4年9月4日	七	國際連盟總會全權より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	174
二	130	昭和4年9月2日	三	國際連盟總會全權より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	173
二	129	昭和4年8月31日	一	國際連盟總會全權より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	171
二	128	昭和4年8月28日	七〇	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	170
二	127	昭和4年8月28日	三二二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	169
二	126	昭和4年8月28日	三三二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	169
二	125	昭和4年8月27日	三二八	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	167
二	124	昭和4年8月24日	三二四	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	166
二	123	昭和4年8月21日	二二二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	165
二	122	昭和4年8月21日	英海三四	在英国島津大使館付武官より 山梨海軍次官宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	164
二	121	昭和4年8月17日	官房機密 二〇六ノ三	山梨海軍次官より 吉田外務次官宛	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	162
二	120	昭和4年8月17日	九八	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	162
二	119	昭和4年8月16日	一〇一	幣原外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	161
二	118	昭和4年8月14日	三二二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	160
二	117	昭和4年8月12日	三〇九	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	160
二	116	昭和4年8月12日	三〇八	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	159
二	115	昭和4年8月9日	九二	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	英米間商議の進捗に伴う我が比率要求に關し 請訓について	158

付 記 右会談報告に対する海軍側意見

二	140	昭和4年9月16日	二四三	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛（電報）	補助艦の対米比率七割要求の根拠について	186
二	141	昭和4年9月18日	三二七	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮問題に関する英米妥協案に関連の各紙の論評について	190
二	142	昭和4年9月19日	三二九	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	海軍軍縮問題に関する新聞論調について	190
二	143	昭和4年9月19日		大蔵省意見	英米協定案に対する財政上の意見	190
三	144	昭和4年9月20日	二四八	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛（電報）	英米協定案及び軍縮会議開催前における非公式交渉に関し回訓について	197
三	145	昭和4年9月20日	三二五	付記 英米協定案及び軍縮会議開催前における非公式交渉に関する海軍側意見 幣原外務大臣より 在米出淵大使宛（電報）	英米協定案及び軍縮会議開催前に各国と非公式交渉方に関し訓令について	199
三	146	昭和4年9月24日	三六六	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議の招請状の發送遅延に関する英米両国の内情について	201
三	147	昭和4年9月25日	三六七	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英米仮協定に対する訓令執行方に関し意見稟申について	202
三	148	昭和4年9月25日	三六八	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議開催前の非公式交渉の開始及び我が要求に関するリンゼー外務次官との会談について	203
三	149	昭和4年9月25日	三四八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議の開催日取及び開催前の非公式交渉に関する國務長官との会談について	204
三	150	昭和4年10月5日	三三五	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛（電報）	我方の補助艦総括的七割要求に対する英米両国の意見回示方に関し國務長官と懇談方訓令について	206
三	151	昭和4年10月（8）日	三七七	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議招請状送付について	207
三	152	昭和4年10月8日	七七	別電 十月八日着在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報） チェンバレン英国外相より松平大使宛、軍縮会議招請状	軍縮会議へのイタリアの態度に関する新外相の談話について	208
三	153	昭和4年10月（9）日	三六二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	マクドナルド英首相の米国訪問の経過及び新聞論調について	213
三	154	昭和4年10月（10）日	三八〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議招請状発表に関する新聞論調について	214
三	155	昭和4年10月10日	三四六	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議招請状に対する主要新聞論調について	215
三	156	昭和4年10月10日	三六四	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	マクドナルド首相の米国訪問に関する共同声明について	215
三	157	昭和4年10月11日	七八	在イタリア松田大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議招請に関する新聞論調について	216
三	158	昭和4年10月11日	三六八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	日米全権団の構成及び日本全権のワシントン招待に関するコットン國務次官との会談について	217
三	159	昭和4年10月11日	米海機密一六	在米出淵大使館付武官より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛（電報）	比率問題に関する出淵大使と山口多聞中佐との懇談について	218
三	160	昭和4年10月（12）日	三六五	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議招請に対する米国の回答要旨について	218
三	161	昭和4年10月12日	三七一	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	大統領及び英首相の共同声明に関する新聞論調について	219
三	162	昭和4年10月（13）日	三六七	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ヴァージニア州ラビダン・キャンプにおける大統領と英首相との会談内容に関するコットン國務次官の談話について	219
三	163	昭和4年10月15日	七九	在イタリア松田大使より 幣原外務大臣宛（電報）	会議招請に関するイタリアの対英回答内報について	220

三	186	昭和4年10月21日	三七九	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	我が全権米出淵大使より 官の申出について	255
三	185	昭和4年10月(20)日	三九三	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に対する米出淵大使より 長官との会談について	254
三	184	昭和4年10月19日	三五八	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日本の補助艦七割比率要求に関するタイムスの 記事について	253
三	183	昭和4年10月(19)日	三七八	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	252
三	182	昭和4年10月18日		幣原外務大臣談話	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	251
三	181	昭和4年10月18日	機密 三四	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	250
三	180	昭和4年10月18日	一三〇	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	249
三	179	昭和4年10月(18)日	三八七	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	248
三	178	昭和4年10月17日	機密 六四	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	247
三	177	昭和4年10月17日	八四	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	247
三	176	昭和4年10月(17)日	三八六	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	246
三	175	昭和4年10月(17)日	三七六	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	244
三	174	昭和4年10月(17)日	三七五	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	243

三	173	昭和4年10月16日	四一	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	243
三	172	昭和4年10月16日		幣原外務大臣より 在英松平大使宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	242
三	171	昭和4年10月16日	二六一	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	239
三	170	昭和4年10月16日	三四四	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	238
三	169	昭和4年10月16日	公三六四	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	238
三	168	昭和4年10月16日	一二七	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	232
三	167	昭和4年10月16日	三五四	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	231
三	166	昭和4年10月16日	三八五	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	230
三	165	昭和4年10月15日		大蔵省資料	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	229
三	164	昭和4年10月15日	一二二	在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議招請への回答に 関する各新聞論調について	222

三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
209	208	207	206	205	204	203	202	201	200	199	198	197	196	195	194	193	192	191	190	189	188	187
昭和4年11月15日	昭和4年11月15日	昭和4年11月(15)日	昭和4年11月(14)日	昭和4年11月(14)日	昭和4年11月(14)日	昭和4年11月13日	昭和4年11月13日	昭和4年11月13日	昭和4年11月13日	昭和4年11月(13)日	昭和4年11月(13)日	昭和4年11月(13)日	昭和4年11月(12)日	昭和4年11月11日	昭和4年10月31日	昭和4年10月29日	昭和4年10月28日	昭和4年10月(25)日	昭和4年10月24日	昭和4年10月24日	昭和4年10月23日	昭和4年10月(22)日
四二九	四二三	四二一	四二二	四一九	四一八	三六五	二八三	九四	四二一	四一五	四一五	四一四	四一三		四〇〇	機密 二二	密三六 機密	二五	二六九	機密 二七	三八八	三九四
幣原外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍側資料	在英国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛 (電報)	在米国外務大臣より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛 (電報)	在英国島津大使館付武官より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛 (電報)	在米国外務大臣より 在米国外務大臣宛(電報)	佐藤連盟海軍代表より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛 (電報)	在米国外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)
軍縮會議開会期日に関する外務省アメリカ局長の談話について	日英間非公式交渉の内容漏洩防止に対する配慮方稟請について	提議などに関する報道について	大統領の演説中の軍備縮小及び海洋自由問題に関する提案に対する各紙の論評について	別電 十一月十四日着在米国外務大臣宛第四二〇号 比率問題に関する國務長官書並びに仮訳	別電 十一月十五日付古賀海軍省副官宛 國務長官書に対する意見	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について	大戦休戦記念日に際し英米妥協点低下及び比率の問題に關するマクドナルド首相との會談に關する新聞論評について
292	291	291	290	288	280	276	275	275	272	272	269	268	267	261	260	260	259	259	258	257	256	255

三	233	昭和4年12月3日	四六二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	米大統領の演説中の海洋自由問題に関する提案への各紙の論評について……………293
三	232	昭和4年11月30日			日英米間の巡洋艦隻数による均衡論をマクドナルド首相より提案について……………293
三	231	昭和4年11月(30)日	四五〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題への米政府の態度に関するドーズ大使の内話について……………295
三	230	昭和4年11月29日	四五一	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議に顧問として出席予定の駐スイス公使ウィルソンとの比率問題に関する会談について……………297
三	229	昭和4年11月28日	三九二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議開会期日などに関し英大使より通報について……………298
三	228	昭和4年11月28日	四〇六	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題などに関する意見申進について……………299
三	227	昭和4年11月(28)日	四四二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊間軍縮交渉の現状などに関する仏国海軍当局との会談要領について……………300
三	226	昭和4年11月27日	三〇四	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議についての仏国提案に関するダルラン少将の説明要領について……………301
三	225	昭和4年11月27日	一五五	在パリ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	米国外大使モローの軍縮会議全権任命について……………302
三	224	昭和4年11月27日	九九	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に関する國務長官覚書への回答電報方稟請について……………303
三	223	昭和4年11月26日		閣議決定	軍縮会議へのイタリアの態度に関する同国外相の内話について……………303
三	222	昭和4年11月23日	一五三	伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	英国労働党議員の戦艦全廃案提出の意向について……………304
三	221	昭和4年11月23日	一五一	伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍軍縮会議全権委員に対する訓令について……………304
三	220	昭和4年11月23日	四四三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	付記 十一月十四日陸軍省梅津軍事課長持参全権に与うる訓令中陸軍として包含せしめたる事項……………310
三	219	昭和4年11月23日	一二〇	在メキシコ青木公使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊間の軍縮会議予備交渉の進捗ぶりなどに関するイタリア外務省係官の内話について……………310
三	218	昭和4年11月21日	機密 三九	在仏国三浦大使館付武官より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛(電報)	軍縮会議開会期日の変更に関する情報について……………311
三	217	昭和4年11月21日	機密 三八	在仏国三浦大使館付武官より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛(電報)	日本政府の補助艦対米七割主張に基づく具体的試案に関し回訓について……………311
三	216	昭和4年11月20日	機密 二八	佐藤連盟海軍代表より 山梨海軍次官、末次軍令部次長宛(電報)	軍縮会議日本全権への訓令内容に関する各新聞掲載記事について……………313
三	215	昭和4年11月20日	九八	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮問題に関する日本の主張への新聞論評について……………313
三	214	昭和4年11月19日	二九二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に関する國務長官覚書に対し回訓について……………314
三	213	昭和4年11月(19)日	四三四	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日米間予備交渉回避に関するドーズ大使の意向について……………315
三	212	昭和4年11月(19)日	四三三	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	八吋砲搭載巡洋艦の隻数などをめぐるマクドナルド首相との会談について……………316
三	211	昭和4年11月18日	四三六	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日本出発の際の若槻全権のメッセージ……………317
三	210	昭和4年11月15日	九四	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題などに関するスティムソン國務長官との会談について……………318

三	255	昭和4年12月20日	四二九	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛（電報）	別電 同日幣原外務大臣より在米出淵大使宛第四三〇号 会議の目的及び議題などに関する日本政府回答	356
三	254	昭和4年12月20日	四九七	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	我が全権との会談日程打合せなどに関するマ クドナルド首相との会見について	354
三	253	昭和4年12月20日	四三五	在仏安達大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ランドン軍縮会議に対する伊国政府の方針及び 潜水艦廃止問題に対する伊国政府内部の論議に ついて	353
三	252	昭和4年12月19日	四九一	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	全権着英後会議開催までの予備交渉に関し打合 わせについて	353
三	251	昭和4年12月19日	四八八	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議への英政府の意向に関するクレイギ ー外務省アメリカ局長の談話について	351
三	250	昭和4年12月19日	五二二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	比率問題などをめぐる日米両国全権第二回会見 について	347
三	249	昭和4年12月19日	五二一	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	比率、食糧船の自由、主力艦、潜水艦の各問題 に関する大統領との会談について	345
三	248	昭和4年12月(19)日	五一九	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	全権の記者団との応答に関する主なる新聞論評 について	343
三	247	昭和4年12月18日	五一八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	国務長官との会談に関する感想及び今後の会談 への対策について	342
三	246	昭和4年12月18日	五一六	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	別電 十二月十八日在米出淵大使より幣原外務大臣宛第五一七号 スティムソン国務長官より手交の覚書	340
三	245	昭和4年12月18日	五一五	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	補助艦比率問題をめぐる若槻・財部両全権とス ティムソン国務長官との会談について	333
三	244	昭和4年12月(18)日	五一三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	若槻全権の記者団への応答に関する新聞記事に ついて	332
三	243	昭和4年12月14日	五〇〇	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	日本の大型巡洋艦対米七割要求へのジョーンス 少将の不満に関するキャッスル新駐日大使の内 話について	332
三	242	昭和4年12月14日	四九九	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	会議の議事方法、比率問題及び輿論指導方法な どに関する国務長官との会談について	330
三	241	昭和4年12月13日	四一七	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	我が全権と大統領、国務長官との会談に関する 新聞発表の形式など連絡方について	330
三	240	昭和4年12月13日	三二〇	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	会議の議題及び議事手続に関し英側より覚書 手交について	329
三	239	昭和4年12月13日	一〇八	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議へのイタリアの態度及び全権の顔触に 関するロッソの談話について	328
三	238	昭和4年12月12日	四七八	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	比率問題に関する日米の争点を紹介したタイム ス記事について	327
三	237	昭和4年12月11日	四一三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	会議の議事方法及び主力艦問題などに関し回訓 について	326
三	236	昭和4年12月11日	四七三	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	交渉行詰りの局面打開方に関し請訓について	324
三	235	昭和4年12月9日	四七一	在英松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	非公式会談内容漏洩防止に関する希望及び隻数 談話について	323
三	234	昭和4年12月9日	四九三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議への仏国の態度及び仏伊関係に関する クロードル大使及びキャッスル国務次官補 の談話について	321

三	280	昭和5年1月13日	一八	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	府覚書に対する英国政府覚書内報について	416
三	279	昭和5年1月11日	二三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議に対する意見を述べたアレクサンダー海相の演説要旨について	415
三	278	昭和5年1月11日	二〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	付記 一月十三日斎藤軍縮会議全権随員より堀田欧米局長宛マクドナルド英相との第二回非公式会談の際の内幕について	414
三	277	昭和5年1月10日	一七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	我が全権と英国当局との会談中に仏国覚書及の場合の応酬方について	408
三	276	昭和5年1月10日	一五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題及び八吋砲巡洋艦の価値に関するマクドナルド首相との第二回非公式会談について	403
三	275	昭和5年1月8日	一一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻全権とアレキサンダー海相との会談において相互に会議の成功を熱望について	402
三	274	昭和5年1月(8)日	四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	英国における日本全権の動向などに関するタイムス東京特電の報道について	401
三	273	昭和5年1月7日	七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	補助艦対米七割要求をめぐるヘンダーソン外相との会談について	398
三	272	昭和5年1月7日	六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	英国との予備交渉を控え電報内容漏洩防止方について	398
三	271	昭和5年1月6日	三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第一回日英専門家打合せにおける主力艦及び航空母艦に関する討議の経過について	394
三	270	昭和5年1月6日	四	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方要求の巡洋艦保有量などに関するステイムソン國務長官との会談について	393
三	269	昭和5年1月(5)日	一一	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻全権の内外新聞及び通信記者との応答大要について	391

三	268	昭和5年1月3日	三	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議で討議さるべき問題への仏国の覚書に關するクレイギーの談話について	390
三	267	昭和5年1月2日	四	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	マクドナルド首相より絶対静養必要の為若槻全権との会談中止方申出について	389
三	266	昭和5年1月1日	一	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議で討議さるべき問題への仏国の覚書に關するクレイギーの談話について	388
三	265	昭和4年12月31日	四四〇	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛(電報)	我が方要求の巡洋艦保有量について	387
三	264	昭和4年12月30日	五一	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊交渉の進捗状況に関する伊国大使の談話について	386
三	263	昭和4年12月27日	機密公 七七二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻・財部両全権とステイムソン國務長官との会談議事録送付について	367
三	262	昭和4年12月24日	五四三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	滯米中の感想に關し両全権より申進について	366
三	261	昭和4年12月24日	四四六	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	會議において討議さるべき問題に關する仏国政府の対英覚書の概要について	365
三	260	昭和4年12月23日	三二九	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	補助艦比率対米七割要求貫徹方に関し回訓について	363
三	259	昭和4年12月(23)日	五三三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	我が全権のワシントンにおける記者会見及び米國一般言論界の動向について	362
三	258	昭和4年12月22日	五三五	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議への米國政府の意向に關するキャッスル駐日大使の談話について	359
三	257	昭和4年12月21日	八八	在ニューヨーク沢田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	両全権のニューヨークにおける記者会見の模様について	358
三	256	昭和4年12月21日	四三九	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	下院海軍予算討議の際のレイグ海相及びエリオ急進社会党首領の発言について	357

四	303	昭和5年1月23日	五六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	巡洋艦比率、主力艦及び航空母艦艦型縮小など に關するマクドナルド首相との第三回会談につ いて	417
四	302	昭和5年1月23日	五五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮會議討議問題に關する仏国専門家の研究結 果を仏国大使より通報について	423
四	301	昭和5年1月22日	五三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	備砲口径を以て艦艇類別の基礎とする提案に關 する仏国大使交付書類について	424
四	300	昭和5年1月22日	五二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	対米及び対英交渉に關する意見票申について	424
四	299	昭和5年1月21日	五二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン軍縮會議へのイタリアの立場に關する ファシスト党報の發表について	426
				別電 一月十八日ロンドン軍縮會議全権より 若槻全権演説(英語)及びマクドナルド英国全権演説要旨の事前報 告について	軍縮會議に對するスペイン政府の態度に關する 情報について	426
四	298	昭和5年1月21日	五一	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮會議へのイタリアの立場に關する海軍軍令 部長の内話について	428
四	297	昭和5年1月20日	四七	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍軍備制限方式に關する仏国妥協案仮訳送付 について	429
三	296	昭和5年1月22日	二〇	幣原外務大臣より ロンドン軍縮會議全権宛(電報)	軍縮會議に對する専門家の意見書を仏国側より 交付について	431
三	295	昭和5年1月21日	合三一	幣原外務大臣より 在英國松平大使、在米國出淵大使宛 (電報)	軍縮會議への英國政府の方針に關するマクドナ ルド首相の内外記者への説明及びこれに關する 各紙社説について	432
三	294	昭和5年1月18日	四六	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	大型巡洋艦保有量問題に關する第二回日英専門 家打合會の経過について	435
三	293	昭和5年1月18日	四四	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	大型巡洋艦問題などにつき解決を焦らざるを得 策の旨全権へ伝達方依頼について	438
				巡洋艦隻数及び比率問題などをめぐるクレイ グの会談について		
三	292	昭和5年1月17日	三七	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	291	昭和5年1月17日	三七	海軍省藤田中佐より 外務省宛		
三	290	昭和5年1月16日	三六	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	289	昭和5年1月15日	密一	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛		
三	288	昭和5年1月15日	密九	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛		
三	287	昭和5年1月15日	九	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	286	昭和5年1月14日	二一	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	285	昭和5年1月14日	八	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	284	昭和5年1月14日	三三	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	283	昭和5年1月14日	三二	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	282	昭和5年1月14日	三一	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)		
三	281	昭和5年1月14日	二六	ロンドン軍縮會議全権より 幣原外務大臣宛(電報)		

四	304	昭和5年1月23日	五九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	一月二十四日の日英米全権会議の延期に関する 米国側の申出について	12
四	305	昭和5年1月23日	六二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	非公開総会における各国全権の概括的声明につ いて	13
四	306	昭和5年1月24日	六四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第二回首席全権会議における決議事項について	15
四	307	昭和5年1月24日	六五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	二十四日の日英米全権会議の延期について	17
四	308	昭和5年1月24日	六八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	事務総長より送付越したる議題一覧表に対し修 正希望方申入れについて	17
四	309	昭和5年1月24日	七〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第六九号 別電 一月二十四日ロンドン軍縮会議全権より 右議題一覧表	18
四	310	昭和5年1月24日	七一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	日仏専門家の意見交換方に関する若槻全権の通 報について	19
四	311	昭和5年1月24日	二二	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日英専門委員会談における比率問題などの協議 について	19
四	312	昭和5年1月27日	七四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	日仏両国の海軍軍縮の見解の一致点などに関す る新聞論調について	20
四	313	昭和5年1月27日	七五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	事務総長より議題表修正案の送付について	21
四	314	昭和5年1月27日	七七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第三回首席全権会議における議題表修正案の討 議について	21
四	315	昭和5年1月28日	八〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊各国専門委員との意見交換について	22
四					第四回首席全権会議における議題審議の経過に ついて	23
四	316	昭和5年1月28日	八三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	会議の現状に対する米国側の態度に関しリード 全権より内話について	24
四	317	昭和5年1月29日	八四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に関する日英全権全員会議の経過につ いて	26
四	318	昭和5年1月30日	八六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻・マクドナルド会談における制限方式に関 する英仏間交渉通報について	28
四	319	昭和5年1月30日	八八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	比率問題に関する斎藤・クレギー会談につい て	30
四	320	昭和5年1月30日	八九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第三回総会の経過について	31
四	321	昭和5年2月4日	一〇三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	別電 一月三十日ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第九〇号 議題委員会設置に関するステイムソン全権の動議について	32
四	322	昭和5年2月5日	一〇五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第五回首席全権会議の経過について	32
四	323	昭和5年2月5日	一〇六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	日米全権会談において英米間交渉経過を聴取及 び主力艦問題など協議について	33
四	324	昭和5年2月5日	一〇八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻・リード両全権会談において米国側より軍 縮に関する試案提示について	37
四				別電 二月六日ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第一〇七号 リード全権提示の軍縮試案(訳文)	付記 リード全権提示の軍縮試案(原文)	37
四					会談内容の漏洩防止方に関しリード全権より若 槻全権へ要請について	43
四						48

四	347	昭和5年2月15日	一四五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	安保、樺山、リード会談において米國試案に対する我が主張開陳について	78
四	346	昭和5年2月14日	五六	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	潜水艦問題に関する仏國臨時代理大使との会談について	77
四	345	昭和5年2月14日	一四一	付記 ロンドン軍縮会議における日本全権の態度に関する声明書		74
四	344	昭和5年2月13日	五五	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	日本全権の態度に関する声明書への各紙の反響について	73
四	343	昭和5年2月13日	一三九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮に関する米國案並びに浜口・犬養両総裁の軍縮論議に関する新聞論調について	71
四	342	昭和5年2月13日	一三八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	フィリピン諸島の中立化問題に関する応酬について	70
四	341	昭和5年2月(13)日	五三	在米國出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フィリピン中立化関係の日米協定の構想に関するニューヨーク・タイムスの報道について	70
				付記 軍縮に関する日本試案(英文)		67
				別電 二月十二日ロンドン軍縮会議全権より 軍縮に関する日本試案		65
四	340	昭和5年2月12日	一三三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	松平・リード両全権会談において軍縮に関する日本試案を提示について	64
四	339	昭和5年2月12日	一三二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議における日本全権の態度に関する声明について	63
四	338	昭和5年2月12日	一二九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻・リード両全権会談における英米交渉の内容 容通報について	62
四	337	昭和5年2月(12)日	一二八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第四回総会における潜水艦問題討議の際の財部全権の声明について	61
四	336	昭和5年2月11日	一二七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第四回総会における潜水艦問題討議の経過について	59
四	335	昭和5年2月(11)日	館長符号	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	漏洩事件に関し照会について	59
四	334	昭和5年2月10日	一二四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第七回首席全権会議における次回総会その他会議議事協議について	58
四	333	昭和5年2月(9)日	四三	在米國出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議に関する新聞報道について	57
四	332	昭和5年2月8日	一二一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮に関する米國試案に関し松平・リード両全権の個人的協議について	56
四	331	昭和5年2月8日	一二〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	米側試案漏洩問題に関する松平・リード会談について	56
四	330	昭和5年2月8日	一一九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議における英國の立場についての覚書議案提示に関する若槻・マクドナルド会談について	55
四	329	昭和5年2月8日	一一八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議における英國の立場に関する覚書中の注意すべき点について	52
四	328	昭和5年2月7日	一一五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	若槻・タルデュー会談における潜水艦問題討議について	51
四	327	昭和5年2月6日	一一一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	米國全権声明書発表問題に関する若槻・リード会談について	51
四	326	昭和5年2月6日	一一〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	ハ時型巡洋艦及び米國試案に関する斎藤・クレイギー会談について	49
四	325	昭和5年2月6日	一〇九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第六回首席全権会議における次回総会の議題などに関する協議について	49

四	372	昭和5年3月4日	一七七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第九回首席全権会議の経過について	106
四	371	昭和5年3月3日	一七四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	松平・リード会談の内容漏洩防止方の努力について	105
四	370	昭和5年3月1日	八〇	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	二月二十六日の首席全権会議及び二十七、八日の松平・リード会談に関する各紙の報道について	104
四	369	昭和5年3月1日	七九	ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	会議の機密漏洩防止に万全を期すよう通達について	103
四	368	昭和5年2月28日	一七〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	松平・リード会談中の一二の経過報告について	103
四	367	昭和5年2月28日	一六九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国の政変による会議の前途への悲観的報道の流布について	102
四	366	昭和5年2月28日	一六八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	会談行詰り打開の為松平・リード両全権間にて自由討議の開始について	101
四	365	昭和5年2月28日	一六七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	会議の機密漏洩に嚴重注意方に関し申進について	101
四	364	昭和5年2月(27)日	一六三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊両国が会議脱退の場合の日本の態度に関する照会への対処方針について	101
四	363	昭和5年2月26日	七三	ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	日英米三国のみにての協定に関するキャッスル米国外務大臣との会談について	100
四	362	昭和5年2月26日	七二	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	全権への支援決議に関する貴族院各派共同声明問題について	99
四	361	昭和5年2月26日	七一	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	軍縮会議の決裂説などの報道に鑑み会議内外の状況照会について	99
四	360	昭和5年2月26日	一六五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第八回首席全権会議における議事促進の方法に関する協議について	97

四	359	昭和5年2月25日	一六一	幣原外務大臣 キャッスル米国外務大臣会談録	仏国の態度如何により日英米三国のみの協定となる場合への対処方に関し協議について	95
四	358	昭和5年2月24日	一六一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議に関する新聞掲載論説について	94
四	357	昭和5年2月22日	五四	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フランスにおける新内閣の組織について	93
四	356	昭和5年2月21日		幣原外務大臣より 在英國松平大使宛(電報)	財部全権と協議し具体的妥協案作成の上請議するよう若槻全権へ伝達方について	93
四	355	昭和5年2月(20)日	館長符号	ロンドン軍縮会議松平全権より 幣原外務大臣宛(電報)	補助艦に関する日本の主張貫徹の困難について	92
四	354	昭和5年2月19日	六四	在米出州大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日本側の八時砲巡洋艦対米七割の要求等に関するヘラルド・トリビューン紙の社説について	91
四	353	昭和5年2月19日	一五五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	イタリア代表部発表の同国軍縮政策の要点について	90
四	352	昭和5年2月18日	六五	ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	潜水艦問題に関する仏国臨時代理大使との会談について	89
四	351	昭和5年2月18日	四七	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	タルデュー内閣の総辞職について	88
四	350	昭和5年2月18日	一四九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	日英米全権会議における日本試案討議の経過について	83
四	349	昭和5年2月17日	六一	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	我が主力艦をワシントン条約協定の九隻に減少応諾方について	83
四			六〇	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	補助艦対米七割要求問題に関するキャッスル米国外務大臣との会談について	79
四	348	昭和5年2月15日		付記 四月二十六日在本邦米国外務大臣宛の覚書 日本補助艦対米七割要求に関する二月十四日の会談に関連する問題について		81

四	373	昭和5年3月(5)日	八一	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮に関するボラー上院議員等の論議及び各紙の論調について	106
四	374	昭和5年3月(6)日	一八〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	松平・リード両全権会談による事態打開の努力について	107
			別電	三月六日着ロンドン軍縮会議全権より 一九三六年末における日英米三国の保有量に関する第一次日本側試案	112	
			二	三月六日着ロンドン軍縮会議全権より 同右、第二次日本側試案	113	
四	375	昭和5年3月6日	一八四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	斎藤・クレイギー会談における交渉促進の具体案摸索について	113
四	376	昭和5年3月6日	一八五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	松平・マクドナルド会談における日米間交渉に関する意見交換について	115
四	377	昭和5年3月8日	一八八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	英国海軍予算案に関する各紙の社説について	117
四	378	昭和5年3月8日	一八九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	若槻首席全権よりマクドナルド首相に対し会議の成功を切望の旨衷情披瀝について	118
四	379	昭和5年3月8日	一九〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	第十回首席全権会議の経過について	119
四	380	昭和5年3月8日	八七	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	松平・リード会談の問題点に関する米国外使との会談について	120
四	381	昭和5年3月(12)日	一八七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	松平・リード会談の内容漏洩防止方更に要望について	122
四	382	昭和5年3月12日	一九七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	六時砲巡洋艦の最大排水量の問題に関する討議について	122
四	383	昭和5年3月12日	一九九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	第十一回首席全権会議の議事経過について	123
四	384	昭和5年3月12日	二〇〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	補助艦総括的対英七割の要求をめぐる斎藤・クレイギー会談の経過について	124
四	385	昭和5年3月(13)日	二〇一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	松平・リード両全権間の自由会談の進捗について	125
四	386	昭和5年3月(13)日	二〇二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	米国側は最終譲歩案として事実上我が総括対米七割を認めこれ以上譲歩せしむること困難の旨稟申について	126
四	387	昭和5年3月13日	八一	在仏国河井臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	安全保障条約問題に関する各紙の論評について	128
四	388	昭和5年3月(14)日	二〇四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	請訓の一部修正方について	128
四	389	昭和5年3月(14)日	二〇五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	八時砲艦、軽巡洋艦及び潜水艦問題に関する若槻全権とマクドナルド、クレイギーとの会談について	128
			別電	三月十四日ロンドン軍縮会議全権より 八時砲巡洋艦の保有量に関する英米側提案	129	
四	390	昭和5年3月14日	二〇六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	若槻・リード会談における米国側最終譲歩案の提示について	130
四	391	昭和5年3月14日	二〇八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	米国側は補助艦総括的七割の我が要求を承認しこれ以上譲歩せしめるは困難の旨具申について	131
四	392	昭和5年3月14日	二〇九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	会議決裂防止の努力に関する各紙の記事について	132
四	393	昭和5年3月15日	二一一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米間交渉の経過発表方に関する米国全権の希望について	133
四	394	昭和5年3月15日	九〇	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	米国側最終譲歩案に関するリード全権の私電をキャッスル大使より内示について	133

四	395	昭和5年3月15日	二二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	英国側との交渉りに関する仏国海相の談話について	135
四	396	昭和5年3月17日	二二三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米妥協案に対する英国側の態度に関しリード全権より説明について	136
四	397	昭和5年3月17日	二二五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米妥協案の成立並びに英仏交渉の経過に関する新聞報道について	136
四	398	昭和5年3月17日	二二六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米妥協案及び英仏会談に関する新聞報道について	138
四	399	昭和5年3月18日	二二七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米妥協案の漏洩に対しリード全権より事情照会について	139
四	400	昭和5年3月18日	九七	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	日米妥協案に関する各紙の論調について	140
四	401	昭和5年3月18日	九一	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	米国側最終案に関する各紙の記事並びに米国案に対する海軍当局の反駁的言明について	141
四	402	昭和5年3月18日	二一八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	交渉内容漏洩の事実の真相及び英米側への挨拶方に関し稟請について	142
四	403	昭和5年3月19日	二二九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	米国提案への海軍側及び外務省側の反応などに関する各紙の報道について	142
四	404	昭和5年3月19日	二二〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	仏国側の対日活動に対するリード全権の危惧について	144
四	405	昭和5年3月19日	九二	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日本側において潜水艦現有勢力保持の主張を固執方仏国代理大使より希望について	144
四	406	昭和5年3月19日	九三	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日米妥協案に関するマクドナルド首相の電報をめぐる英国大使との会談について	146
四	407	昭和5年3月19日	九四	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日米間妥協成立の見込に関する各紙の論評について	147
四	408	昭和5年3月19日	九五	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	潜水艦保有量に関する仏国側申入れへの日本側の対処方をめぐる吉田外務次官と米国外務との会談について	147
四	409	昭和5年3月19日	九六	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日英米妥協案成立を切望せる英首相より浜口首相宛メッセージ伝達の際の英国大使との会談について	149
四	410	昭和5年3月21日	別電	三月二十一日幣原外務大臣よりロンドン軍縮会議全権宛第九七号	米国側最終譲歩案に関するステイムソンの電報	150
四	411	昭和5年3月21日	九八	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	キヤッスル大使より手交について	151
四	412	昭和5年3月21日	館長専用符号	三月二十一日幣原外務大臣よりロンドン軍縮会議全権宛第九九号	今次の妥協案にて協定するよう海軍省当局に対して財部全権より意見開示方若槻全権へ要請について	152
四	413	昭和5年3月22日	二二三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	我方の回訓手続などに関する若槻・マクドナルド会談について	152
四	414	昭和5年3月22日	二二四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米妥協案を米国側提案と呼称の場合の米国側の感情について	154
四	415	昭和5年3月22日	二二五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	今回の軍縮会議における妥協は次の会議における日本の主張を拘束するものに非ざることを予め声明方考慮について	154
四	416	昭和5年3月22日	館長符号	在英米松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	海軍側の意見による回訓あらば交渉決裂の恐れある旨若槻全権より稟申について	155
四	417	昭和5年3月22日	八九	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン軍縮会議に関する仏国各紙の論調について	155

四	439	昭和5年3月(30)日	安保ロンドン軍縮会議顧問より 山梨海軍次官宛	日米妥協案の最後案通報について	181
四	438	昭和5年3月(30)日	幣原外務大臣宛(電報) ロンドン軍縮会議全権より	日米妥協案への日本側の反応に関する新聞報道について	181
四	437	昭和5年3月29日	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	国防に脅威を感じしむる議歩には反対との報知の論調及び政友会の声明について	180
四	436	昭和5年3月28日	堀海軍省軍務局長より 堀田外務省欧米局長宛	日米両国の現有艦船などの比較表送付について	178
四	435	昭和5年3月28日	堀海軍省軍務局長より 堀田外務省欧米局長宛	日米妥協案による場合我が方の最も不利とする点及び変更を要すべき点などについて	177
四	434	昭和5年3月27日	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	日米妥協案に対する国民、東京日々、中外商業などの論調について	176
四	433	昭和5年3月27日	幣原外務大臣宛(電報) ロンドン軍縮会議全権より	マクドナルド首相より若槻全権宛我が回訓取急ぎ方依頼について	175
四	432	昭和5年3月27日	幣原外務大臣宛(電報) ロンドン軍縮会議全権より	第十三回首席全権会議における総会開催問題の討議について	174
四	431	昭和5年3月(27)日	幣原外務大臣宛(電報) ロンドン軍縮会議全権より	日米妥協案に対する回訓方稟請につき在米大使に通報について	174
四	430	昭和5年3月26日	九三 在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮会議への仏国の態度に関するブリアン外相の言明について	173
四	429	昭和5年3月(26)日	二二九 ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	日米妥協案の成立までの経過について	170
四	428	昭和5年3月25日	一〇六 ロンドン軍縮会議全権宛(電報) 幣原外務大臣より	海軍省軍務局長より手交の海軍側私案の取扱について	169
四	427	昭和5年3月25日	一〇五 幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	日米妥協案の補助艦艦種別割当をめぐる朝日、時事の論調について	168

四	426	昭和5年3月25日	二二二 ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第十二回首席全権会議における会議進行の現状及び次回総会開催問題の討議について	167
四	425	昭和5年3月24日	館長符号 幣原外務大臣より 在英松平大使宛(電報)	日米妥協案を更改する修正案を提出せば会議決裂の危険ある旨具申方要望について	166
四	424	昭和5年3月24日	一〇三 幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	国務長官の浜口首相宛のメッセージを米国外務省より手交について	165
四	423	昭和5年3月24日	一〇二 幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	スティムソン国務長官より浜口首相宛のメッセージ伝達差控えに関するキャッスル駐日大使の内話について	164
四	422	昭和5年3月24日	館長符号 在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日米妥協案による海軍部内の收拾方若槻全権の依頼に対する財部全権の拒絶について	160
四	421	昭和5年3月23日	館長符号 在英松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	日米妥協案承認のやむを得ざる所以を発電方若槻全権の依頼に対する財部全権の躊躇の態度について	159
四	420	昭和5年3月22日	海軍側作成の回訓案	日米妥協案に対する海軍側作成の回訓案	157
四	419	昭和5年3月22日	館長専用 在英松平大使宛(電報)	財部全権に対する早期帰朝要望の事情について	157
四	418	昭和5年3月22日	一〇〇 幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛(電報)	軍縮会議の解決策に関する東京日日及び大阪毎日などの論調について	156

四	462	昭和5年4月3日	一〇〇	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン軍縮会議に対する各紙の観測について	211
四	463	昭和5年4月4日	二五三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	加藤軍令部長の帷幄上奏に関するタイムスの記事について	212
四	464	昭和5年4月4日	二五五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮会議の現況に関する新聞記事について	212
四	465	昭和5年4月4日	一二四	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日英米妥協案への政府回訓と軍令部の動向に関する各紙の論調について	215
四	466	昭和5年4月5日	二五七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	条約の有効期間及び留保条項に関する規定挿入方請訓について	216
四	467	昭和5年4月5日	二五九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	特別専門委員会における補助艦建造線上、古鷹級代換、潜水艦融通の各問題討議について	216
四	468	昭和5年4月5日	一一五	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	日本政府の三国妥協案承認及び英仏会談の進行ぶりに関するコックトン國務長官代理の談話について	218
四	469	昭和5年4月5日	一二六	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日英米三国妥協案の承認に関する各紙の論調について	218
四	470	昭和5年4月7日	一二七	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	軍縮による剰余財源の用途に関する各紙の論調について	220
四	471	昭和5年4月8日	館長符号	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	八吋砲巡洋艦に關し米國が十八隻を十五隻にするとのオプシン行使承認方について	220
四	472	昭和5年4月8日	二六一	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	第三回特別専門委員会における補助艦建造線上問題審議の経過について	221
四	473	昭和5年4月8日	一二八	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	日英米三国妥協案に関する各紙の論調について	222
四	474	昭和5年4月9日	館長符号	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	帰朝の日程に關し若槻全権より照会について	222
四	475	昭和5年4月9日	二六四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日英米全権会議における補助艦建造線上及び古鷹級巡洋艦代換問題の討議について	223
四	476	昭和5年4月9日	一二九	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	条約の有効期間及び留保条項に關する規定挿入に關し回訓について	228
四	477	昭和5年4月10日	二六六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日英米全権会議における潜水艦保有量などをめぐる討議について	229
四	478	昭和5年4月11日	二六九	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日英米全権会議における潜水艦代換、練習艦代換及び条約骨組案に關する討議について	236
四			別電一	四月十一日ロンドン軍縮会議全権より ロンドン海軍条約骨組案	幣原外務大臣宛第二七〇号	241
四	479	昭和5年4月11日	二七二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	四月十一日ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛第二七一号	242
四	480	昭和5年4月11日	二七三	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	第四回特別専門委員会における潜水艦繰上建造案仮決定について	242
四			別電	四月十一日ロンドン軍縮会議全権より 三国協定案公表の際の日本側の声明案	幣原外務大臣宛第二七四号	243
四	481	昭和5年4月11日	二七五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン軍縮会議の経過に關するマクドナルド首相の声明並びに三国協定成立に關する各紙の報道について	245
四	482	昭和5年4月11日	二七六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	第十六回首席全権會議における協定の整理、起草委員會設置、次回總會の期日に關する審議について	246
四	483	昭和5年4月11日	館長符号	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛（電報）	若槻全権に對し帰朝の旅程は印度洋經由にて差支なき旨伝達方について	247

四	495	昭和5年4月15日	一三九	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	ロンドン軍縮会議をめぐる国内政情に関する各新聞論調について	255
四	496	昭和5年4月15日	一四二	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	宮中の午餐会における天皇陛下下の英国大使に対する三国協定成立慶賀の御言葉について	256
四	497	昭和5年4月16日	一二五	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン軍縮会議の意義を強調した大統領の演説について	256
四	498	昭和5年4月16日	三〇五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	米国側においてオプシヨン行使の場合の対策に関するリード全権の内話について	257
四	499	昭和5年4月16日	三〇六	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	日米全権会合におけるオプシヨン行使問題に関する討議について	258
四	500	昭和5年4月16日	一四五	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	四月十五日の日米全権会談におけるオプシヨン問題討議内容に関し照会について	260
四	501	昭和5年4月16日	一四六	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	ロンドン海軍条約に関する東京日日、大阪毎日及び都新聞の評価について	260
四	502	昭和5年4月17日	一二六	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン海軍条約に関する新聞報道について	261
四	503	昭和5年4月17日	三一二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	フランスの保有量高き場合における保障条項規定に関し日英米全権の協議について	262
四	504	昭和5年4月17日	別電一	四月十七日ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第三一三三号 英米側より若槻全権に提出した保障条項に関する条約案 四月十七日ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第三一四号 右に対するリード全権の修正案		267 267 267 267
四	505	昭和5年4月17日	二	ハンケイ国際連盟事務総長より 告親全権宛	古鷹級代換問題に関する四月八日の日英米全権協議結果を通知する	268

四	484	昭和5年4月12日	二七七	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	起草委員会における条約草案作成の見込について	248
四	485	昭和5年4月12日	二八〇	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	条約の有効期間及び留保事項に関する条項挿入について	248
			別電	四月十二日ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第二八一号 条約の有効期間及び留保事項に関する日英米三国家		249
四	486	昭和5年4月12日	二八二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	製艦工業力維持の為補助艦代艦建造時期繰上の協定案決定について	249
四	487	昭和5年4月(13)日	一二二	在米出国出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン軍縮会議に関する大統領の声明書について	250
四	488	昭和5年4月13日	二八四	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン海軍条約基礎案送付について	251
四	489	昭和5年4月14日	二九二	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	若槻・ステイムソン会談における軽巡洋艦、駆逐艦間の融通問題討議について	252
			付記	四月十五日着在英国松平大使より幣原外務大臣宛電報 右に関する若槻全権よりの依頼電報		252
四	490	昭和5年4月14日	二九五	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	第五回総会における第一委員会諸報告採択及び条約調印期日の決定について	253
四	491	昭和5年4月14日	二九八	ロンドン軍縮会議全権より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン海軍条約調印期日に関し稟請について	253
四	492	昭和5年4月14日	一三五	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	米側提示の条約案の形式承認について	254
四	493	昭和5年4月14日	一三四	幣原外務大臣より ロンドン軍縮会議全権宛（電報）	三国協定案の趣旨声明の案文に対する回訓について	254
四	494	昭和5年4月14日	館長符号	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛（電報）	帰朝の日程に関し財部全権へ伝達方について	254

五	528	昭和5年5月17日	公一六七	在米国外務大臣宛(電報)	上院外交海軍両委員会におけるロンドン海軍条約関係論議について	298
五	527	昭和5年5月(17)日	一六三	在米国外務大臣宛(電報)	上院外交海軍両委員会聴取会の経過について	297
五	526	昭和5年5月(16)日	一六〇	在米国外務大臣宛(電報)	上院外交海軍両委員会におけるロンドン海軍条約関係論議について	295
五	525	昭和5年5月(16)日	一五二	在米国外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約に関する上院外交委員会聴取会における國務長官の陳述について	294
四	523	昭和5年5月16日	一〇九	幣原外務大臣より在英松平大使宛(電報)	貴族院本会議における軍縮問題に関する答弁の要点について	292
四	522	昭和5年5月16日	一〇六	幣原外務大臣より在英松平大使宛(電報)	第五十八議会における軍縮関係質疑応答の要旨について	290
五	524	昭和5年5月10日	三八	在イタリア吉沢臨時代理大使より幣原外務大臣宛(電報)	下院におけるグランディ外相のロンドン軍縮会議に関する演説について	294
四	521	昭和5年4月25日	八〇	幣原外務大臣より在英松平大使宛(電報)	ロンドン海軍条約調印に関する各紙の論調について	290
四	520	昭和5年4月25日	一四二	在米国外務大臣宛(電報)	ロンドン軍縮会議の期間における輿論の推移について	288
四	519	昭和5年4月24日	一三七	在米国外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約の批准手管などに関するコックトン國務長官代理の談話について	287
四	518	昭和5年4月(24)日	一三五	在米国外務大臣宛(電報)	リード全権のロンドン海軍条約に関する放送演説について	286
四	517	昭和5年4月23日	一一四	佐藤ロンドン軍縮会議事務総長より堀田欧米局長宛	日米妥協案成立後の事情申進について	284
四	516	昭和5年4月23日	一一四	在仏国河合臨時代理大使より幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約成立に関する主なる新聞論調について	283

四	508	昭和5年4月18日	三二四	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	保障条項中の用語の改訂方英国側の希望に対する米国側の態度について	275
四	507	昭和5年4月18日	三二一	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	主力艦艦齢延期問題に関する最終決定について	274
四	506	昭和5年4月17日	一五〇	幣原外務大臣よりロンドン軍縮会議全権宛(電報)	評価について	273
四	505	昭和5年4月17日	一四九	幣原外務大臣よりロンドン軍縮会議全権宛(電報)	条約の有効期間及び留保事項に関する案文承認について	273
四	509	昭和5年4月21日	三三七	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	第十七回首席全権会議の経過について	277
四	510	昭和5年4月(22)日	三四二	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約調印について	278
四	511	昭和5年4月22日	公表四	外務省公表	最終総会議における若槻首席全権の声明	278
四	512	昭和5年4月22日	公表五	外務省公表	ロンドン海軍条約調印に際しての幣原外務大臣談話	279
四	513	昭和5年4月(23)日	号外	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	条約調印に当り政府に対する謝意表明について	281
四	514	昭和5年4月(23)日	号外	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	条約調印に当り山梨海軍次官への謝意表明について	281
四	515	昭和5年4月23日	三四九	ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約調印に関する各紙の社説について	281

付記

四月二十一日の最終総会議における保障条項に関する英国首相の声明

保障条項中の用語の改訂方英国側の希望に対する米国側の態度について

275

別電

四月十八日ロンドン軍縮会議全権より幣原外務大臣宛第三二五号

275

保障条項中の用語の改訂方英国側の希望に対する米国側の態度について

275

主力艦艦齢延期問題に関する最終決定について

274

評価について

273

条約の有効期間及び留保事項に関する案文承認について

273

第十七回首席全権会議の経過について

277

ロンドン海軍条約調印について

278

最終総会議における若槻首席全権の声明

278

ロンドン海軍条約調印に際しての幣原外務大臣談話

279

条約調印に当り政府に対する謝意表明について

281

条約調印に当り山梨海軍次官への謝意表明について

281

ロンドン海軍条約調印に関する各紙の社説について

281

五	552	昭和5年7月(24)日	二四九	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍問題、仏伊商議に関する仏国政府コミニケ 送付について	325
五	551	昭和5年7月23日	条一機密 三三三	幣原外務大臣より 浜口内閣総理大臣宛	ロンドン海軍条約御批准奏請について	324
五	550	昭和5年7月23日		在本邦米出淵臨時代理大使より 幣原外務大臣宛	米出淵上院におけるロンドン海軍条約批准完了の 旨通報について	323
五	549	昭和5年7月23日	二二一	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	米出淵上院におけるロンドン海軍条約の批准に関する タイムス及びデイリー・ヘラルドの社説要旨に ついて	322
五	548	昭和5年7月22日	一五一	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約に対する上院の協賛について	321
五	547	昭和5年7月(22)日	二四五	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約に対する上院の協賛について	321
五	546	昭和5年7月17日	普通公 四〇八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛	キャッスル国務次官補のロンドン海軍条約に関 する演説について	320
五	545	昭和5年7月17日	二四二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約批准問題に関するキャッスル 国務次官補の意見について	319
五	544	昭和5年7月(13)日	二四〇	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院の条約締結権限に関連する論議の状況につ いて	319
五	543	昭和5年7月(9)日	二三七	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約に関する大統領の教書の要旨 について	318
五	542	昭和5年7月8日	一四〇	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約の枢密院回付までの諸手続に ついて	317
六	596	昭和5年7月6日	公五〇一	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛	海軍問題、仏伊商議に関する仏国政府コミニケ 送付について	359
五	541	昭和5年6月26日	一七六	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍大臣発表の本年度海軍計画について	317
五	540	昭和5年6月(25)日	二二八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院外交委員会におけるロンドン海軍条約の資 料要求に関連の決議及びこれに対する大統領声 明について	316
五	539	昭和5年6月(15)日	二二二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院外交委員会のロンドン海軍条約批准に関す る協賛の決議について	315
五	538	昭和5年6月14日	二二〇	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約に関するステイムソン国務長 官の演説要旨について	314
五	537	昭和5年6月13日		在米出淵大使より 幣原外務大臣宛	キャッスル大使の帰国途次ホノルルにおけるロ ンドン軍縮会議などに関する演説	307
五	536	昭和5年6月9日	二〇二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約批准問題に関する国務長官と の会見について	307
五	535	昭和5年6月(8)日	一九八	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院外交委員会の軍縮会議関係文書提出要求に 対する国務省の拒絶について	306
五	534	昭和5年5月30日	一八四	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院外交海軍両委員会聴取会の経過について	305
五	533	昭和5年5月(28)日	一八二	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約の議会上程期並びに上院外交 海軍両委員会の経過について	304
五	532	昭和5年5月27日	条一九四	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛	ロンドン海軍条約第十九条の艦種なる語の解釈 について	303
五	531	昭和5年5月(24)日	一七三	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院外交海軍両委員会におけるロンドン海軍条 約関係論議について	302
五	530	昭和5年5月(22)日	一七一	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	上院外交海軍両委員会聴取会の経過について	301
五	529	昭和5年5月20日	普通公 二八九	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛	ロンドン海軍条約に基づく米出淵海軍建造費につ いて	300

五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
577	576	575	574	573	572	571	570	569	568	567	566
昭和5年10月9日	昭和5年10月9日	昭和5年10月7日	昭和5年10月3日	昭和5年10月2日	昭和5年10月2日	昭和5年10月1日	昭和5年9月20日	昭和5年9月18日	昭和5年9月17日	昭和5年8月(31)日	昭和5年8月27日
二八八	二八七	二八四	二八一	合四七二	内閣外甲六〇	一四一	機密一二五	合四五六	信七六六	二四四	一六九
幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛(電報)	今井田通信次官より 吉田外務次官宛	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛(電報)
経費節減計画に関する米海軍省発表について……	批准書寄託時期の繰上げについて……	我が方批准書の船積み手配方について……	条約の日本側批准完了通報、並びに祝賀放送アイルランドの批准問題に関するキャッスル国務次官補の談話について……	ロンドン海軍条約の批准完了について……	ロンドン海軍条約の批准完了について……	側への打合せ方について……	ロンドン海軍条約成立祝賀放送実施に關し米側について……	ロンドン海軍条約成立祝賀放送の実施について……	ロンドン海軍条約成立祝賀放送の実施について……	英連邦各国のロンドン海軍条約批准手続の進行状況について……	枢密院の審査促進の關連上アイルランド政府批准問題に關する英國政府の意向照会方について……
342	341	341	340	339	339	338	338	337	335	335	335

五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
565	564	563	562	561	560	559	558	557	556	555	554
昭和5年8月27日	昭和5年8月23日	昭和5年8月(14)日	昭和5年8月(14)日	昭和5年8月13日	昭和5年8月13日	昭和5年8月12日	昭和5年8月9日	昭和5年8月9日	昭和5年8月6日	昭和5年7月24日	昭和5年7月24日
一六八	一六七	二一三	二二六	二五五	二三五	一六一	一六〇	普通公四三一	一五三	公一四七	普通公八五
幣原外務大臣より 在米出淵大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)
英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……	英連邦各政府のロンドン海軍条約批准手続の進行状況照会方について……
334	334	334	333	333	332	332	331	330	328	327	325

六	613	昭和5年11月3日	二五二	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英連邦各国の条約批准及び条約成立祝賀放送実施の時期について	384
六	612	昭和5年11月2日	二五一	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊海軍均勢問題に関するエコー・ド・パリの論調について	383
六	611	昭和5年11月1日	別電	十一月一日在イタリア吉沢臨時代理大使より メッサジエロ紙の記事について		382
六	610	昭和5年11月1日	八八	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		382
六	609	昭和5年11月(1)日	三三二	在米に出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)		381
六	608	昭和5年11月(1)日	八七	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		379
六	607	昭和5年10月(31)日	二五〇	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)		378
六	606	昭和5年10月(31)日	八六	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		377
六	606	昭和5年10月(31)日	三二八	在米に出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)		376
五	583	昭和5年10月31日	八条一二	在外務省より 在本邦米国外務省宛		349
六	605	昭和5年10月(29)日	二四四	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)		374
五	582	昭和5年10月(29)日	三一六	在米に出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)		348
五	581	昭和5年10月28日	二〇七	幣原外務大臣より 在英國松平大使宛(電報)		348
五	580	昭和5年10月28日	三〇〇	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)		347
五	579	昭和5年10月27日				343
六	604	昭和5年10月(26)日	二四三	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)		372
六	603	昭和5年10月(25)日	八	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		370
六	602	昭和5年10月(24)日	八三	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)		369
六	601	昭和5年10月(24)日	別電	十月二十四日着在仏国芳沢大使より幣原外務大臣宛第二四〇号 仏国主力艦の建造に関するファイガロ紙の論説		369
六	600	昭和5年10月(22)日	二八二	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)		366
六	599	昭和5年10月21日	一五四	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)		365
六	598	昭和5年10月(19)日	二七八	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)		364
六	597	昭和5年10月(16)日	二九九	在米に出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)		363
五	578	昭和5年10月14日	二七一	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)		343

六	616	昭和5年12月(13)日	一六三	佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊海軍交渉の現状に関するクレギーの内話 について	387
五	585	昭和5年12月(10)日	三六七	在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍条約に基づく軍艦建造法案の内容 について	352
七	693	昭和5年12月5日	公一一七 七	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相逝去に対する蔣介石の見舞について	469
五	584	昭和5年12月5日	官房三九 三九ノ二	小林海軍次官より 吉田外務次官宛	第五十九回帝國議會に提出すべき法律案につ いて	349
七	692	昭和5年11月20日	機密公 一三三四	在広東須磨總領事より 幣原外務大臣宛	浜口首相遭難事件に関する広東方面の反響につ いて	468
七	691	昭和5年11月19日	公八三二	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛	浜口首相遭難に関する在奉天新聞論調について	466
七	690	昭和5年11月19日	公一〇四 六	在中国矢野参事官より 幣原外務大臣宛	浜口首相遭難に対する在北平漢字紙の論調につ いて	465
七	689	昭和5年11月19日	機密 一〇四三	在中国矢野参事官より 幣原外務大臣宛	浜口首相遭難に対する中国側要人の慰問申出に ついて	465
七	688	昭和5年11月18日			浜口首相遭難に対する国民政府考試院長戴天仇 の見舞の意伝達について	464
七	687	昭和5年11月17日	四二〇	在青島川越總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相遭難に関する在青島米系漢字紙の論説 について	464
七	686	昭和5年11月17日	五六〇	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相遭難に対し張学良の見舞の意向伝達方 について	463
七	685	昭和5年11月17日	三二四	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相遭難に対する英国皇帝陛下の御軫念に ついて	463
七	684	昭和5年11月16日		ムッソリーニ・イタリア首相より 浜口首相宛(電報)	浜口首相の遭難に対する見舞の意披露について	463
七	683	昭和5年11月15日	公四一七	幣原外務大臣より 在上海重光臨時代理公使宛(電報)	汪榮宝公使より伝達について	462
七	682	昭和5年11月15日		在本邦米國大使より 幣原外務大臣宛	浜口首相遭難に対するスティムソン國務長官の 見舞の覚書伝達について	462
七	681	昭和5年11月15日	二二六	在本邦英國大使より 幣原外務大臣宛	浜口首相遭難に対する英國首相の見舞の書信伝 達について	461
七	680	昭和5年11月15日	六三八	在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相遭難に関する在上海有力中国紙の論評 について	461
七	679	昭和5年11月15日	六四九	在ソヴィエト連邦天羽臨時代理大使 より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相遭難に対する外務部当局及び各国外交 官の見舞の意向について	461
七	678	昭和5年11月(15)日	公二〇九 一	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口首相遭難に対する国民政府首腦の見舞の辞 について	460
七	677	昭和5年11月14日	合五四三	在英米各大使、在中國臨時代理公使、 在ニューヨーク總領事他宛(電報)	浜口首相の容態について	460
七	676	昭和5年11月14日	合五四一	幣原外務大臣より 在外各公館長宛(電報)	浜口首相遭難の模様について	460
六	615	昭和5年11月(6)日	九二	在イタリア吉沢臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊海軍交渉打開の爲の米國の斡旋工作に関す るガレット大使の内報について	386
六	614	昭和5年11月(5)日	二五三	在仏國芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏國側よりその保有噸数を六十二万噸とする具 体案提出予定について	385

付記 大正十三年法律第二号立案の経過に関する件

六	629	昭和6年2月28日	三一	幣原外務大臣宛（電報） 在米出淵大使宛（電報）	英国の斡旋による仏伊間海軍交渉の仮協定成立 に対する米国側の見解照会方訓令について	406
六	628	昭和6年2月28日	二〇	在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	海軍問題に関する英伊交渉の妥結について	405
六	627	昭和6年2月28日	一九	在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	海軍問題に関する英伊交渉の進展について	404
六	626	昭和6年2月27日	付記一 合一四一	二月二十六日在本邦英国代理大使永井外務次官訪問の際手交せる文書 仏伊間の海軍交渉に關する英仏間仮協定内容について 幣原外務大臣宛（電報） 在米出淵大使宛（電報） 在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	二 二月二十七日在本邦英国代理大使永井外務次官訪問の際手交せる文書 一九三〇年十二月のジュネーヴにおける英仏伊会談で算出された仏伊兩國の 各艦種別噸数について	401 400 399
六	625	昭和6年2月27日	五七	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛（電報）	主力艦及び潜水艦に關する仏国主張の底意につ	398
六	624	昭和6年2月25日	五五	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛（電報）	仏伊海軍交渉に關する英仏間話合に關しマシグ リ外務省國際連盟局長より日本の好意的考慮期 待について	397
六	623	昭和6年2月25日	五四	在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏間の海軍問題會談に關するコミュニケ発表 について	396
五	592	昭和6年2月24日	一〇五 普通	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛	英仏伊三国の一九三〇年度海軍建造計画隻数に ついて	355
六	622	昭和6年2月19日	三六	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	仏伊海軍交渉に關連しクレイギーの斡旋工作に 關するマクドナルド首相の内話について	354
五	591	昭和6年2月(15)日	一一	在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛（電報）	イタリアにおけるロンドン海軍條約關係の実施 法について	355
五	590	昭和6年2月(15)日	二九	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ロンドン海軍條約違反に対する罰則規定の法律 なき旨國務省より回答について	354
五	589	昭和6年2月13日	合一一八	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛（電報） 在英國松平大使宛（電報） 在米出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	任国におけるワシントン海軍條約實施法に關し 照会について	354
五	588	昭和6年2月13日	二二	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛（電報）	ロンドン海軍條約違反に対する罰則の有無に關 し照会について	353
五	587	昭和6年1月24日	別電一 二	一月十五日着在米出淵大使より幣原外務大臣宛第七号 米国における海軍條約實施の為の特別の法令について 二月二十一日着在英國松平大使より幣原外務大臣宛第一〇号 英國における海軍條約施行期日について		352 353 353 352
六	621	昭和6年1月22日	一三	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	仏伊海軍交渉に關し英國側提議に対する仏国回 答要領をクレイギーより内話について	394
六	620	昭和6年1月(17)日	七	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	仏伊海軍交渉の現況に關するクレイギーの内報 について	393
六	619	昭和6年1月15日	六	幣原外務大臣より 在英國松平大使宛（電報）	仏国潜水艦保有量過大に鑑み次回海軍會議の日 本の潜水艦要求に關し英國の好意期待の旨申入 れ方について	392
五	586	昭和6年1月14日	四	幣原外務大臣より 在米出淵大使宛（電報）	海軍條約實施の為の特別の法規の有無に關し照 会について	352
六	618	昭和6年1月(2)日	一	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	仏伊兩國との海軍交渉における英國側の努力に 關するクレイギーの談話について	391
六	617	昭和5年12月14日	一六四	佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛（電報）	仏国潜水艦許容噸数に關するクレイギーとの會 談について	389

六	651	昭和6年3月9日	五一	在米出国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊海軍協定の発表に對する米國政府の態度並びに同協定に關する國務長官の對英申入れに	434
六	650	昭和6年3月9日	五〇	在米出国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊海軍協定の発表などに対する米國政府の意向について	434
六	649	昭和6年3月7日		永井外務次官、在本邦英國臨時代理大使會談録	英仏伊海軍協定に關する海軍省側の質問事項につき英國側への照會並に協定の條項公表延期について	433
六	648	昭和6年3月7日	二八	在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊協定の公表延期方に關する伊國側の意向について	432
六	647	昭和6年3月7日	七二	在仏岡芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊海軍協定公表期日延期方申入れに對する仏國側の事情について	431
六	646	昭和6年3月7日	六六	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊協定に關し海軍省側において承知したき事項回報について	430
六	645	昭和6年3月7日	六二	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊協定の發表期日の延期について	430
六	644	昭和6年3月7日	三九	幣原外務大臣より 在英國松平大使宛(電報)	英仏伊協定に關し海軍省側において承知したき事項照會方訓令について	428
六	643	昭和6年3月6日	合一六二	幣原外務大臣より 在仏岡芳沢大使、在イタリア岡本臨時代理大使宛(電報)	英仏伊協定發表に關する任國政府への申入方について	428
六	642	昭和6年3月6日	六一	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊海軍協定の公表時期延期方に關する英國側への申入について	427
			二	三月五日在本邦英國代理大使より幣原外務大臣宛電書 我政府が英仏伊協定に賛同せんことを切望すること及び公表期日について		425

六	630	昭和6年2月28日	幣原外務大臣会談録 在本邦仏国大使	英仏伊海軍交渉における仏国主力艦及び潜水艦の許容噸数に関し会談について	406
六	631	昭和6年2月28日	三六 在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊間の海軍交渉に関連の英仏協定に対する米政府の意向に関しキヤッスルの談話について	407
六	632	昭和6年3月2日	在本邦英国代理大使より 永井外務次官宛	仏伊両国の要望せる潜水艦建造噸数について	408
六	633	昭和6年3月2日	在本邦英国代理大使より 幣原外務大臣宛	海軍軍縮に関する英仏パリ会談において決定せる伊国宛英仏伊海軍協定合意に達した旨の電報案文について	409
六	634	昭和6年3月2日	二三 在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	外務省連盟局長ロソンの内示による補助艦に関する仏伊両国間協定の概要について	411
六	635	昭和6年3月2日	二四 在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	補助艦に関する仏伊両国間協定中の潜水艦の部の決定に至るまでの経過について	412
六	636	昭和6年3月2日	二五 在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英伊海軍協定に関するイタリア各紙の論調について	413
六	637	昭和6年3月3日	五〇 在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊協定に関するタイムス及びモーニングポストの論説について	413
六	638	昭和6年3月3日	六四 在仏国芳沢大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏海軍妥協案の変更に關する内報について	414
六	639	昭和6年3月5日	四五 在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏伊間の海軍協定成立に關する大統領及び國務長官の声明について	416
六	640	昭和6年3月5日	二七 在イタリア岡本臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊海軍協定に關する各紙の論説について	417
六	641	昭和6年3月6日	三六 幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	英仏伊協定通報に關する公文受領並びに同協定公表期日延期申入れ方について	418
			付記一 三月五日在本邦英国代理大使より幣原外務大臣宛公文第三九号	英仏伊海軍協定の内容を通報せる公文	418

六	673	昭和6年3月19日	六二	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	457
六	672	昭和6年3月18日	六一	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	455
五	593	昭和6年3月(18)日	九二	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	356
六	671	昭和6年3月17日	官房機密 二二三	小林海軍次官より 永井外務次官宛	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	454
六	670	昭和6年3月16日		幣原外務大臣より 在本邦英國臨時代理大使宛	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	453
六	669	昭和6年3月14日	公二六	在ソヴィエト連邦広田大使より 幣原外務大臣宛	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	451
六	668	昭和6年3月14日	八七	在英國芳沢大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	450
六	667	昭和6年3月13日	六〇	在米國出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	449
六	666	昭和6年3月12日	八二	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	448
六	665	昭和6年3月12日	八一	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	448
六	664	昭和6年3月12日	八二	在英國芳沢大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	447
六	663	昭和6年3月12日	七九	在英國芳沢大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	447
			別電	三月十一日在英国松平大使より幣原外務大臣宛第七七号 英仏伊海軍協定に関する英國外務大臣演説	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	445

六	662	昭和6年3月11日	七六	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	444
六	661	昭和6年3月11日	五〇	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	444
六	660	昭和6年3月11日	四八	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	444
六	659	昭和6年3月11日	五七	在米國出淵大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	443
六	658	昭和6年3月10日	四八	在本邦英國大使より 幣原外務大臣宛	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	442
六	657	昭和6年3月10日	七四	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	441
六	656	昭和6年3月10日	七二	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	441
六	655	昭和6年3月10日	七一	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	441
			付記	三月十日英仏伊海軍協定に関する上聞	英仏伊海軍協定の形式に関する我が方の見解申入れ方について	439
			別電	三月十日幣原外務大臣より在英国松平大使宛第四五号 英仏伊海軍協定に関する我が政府の見解	英仏伊海軍協定の形式に関する我が政府の対英回答申入れ方について	438
六	654	昭和6年3月10日	四四	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が政府の対英回答申入れ方について	438
六	653	昭和6年3月9日	官房機密 一九二	小林海軍次官より 永井外務次官宛	英仏伊海軍協定の形式に関する我が政府の対英回答申入れ方について	436
六	652	昭和6年3月9日	七〇	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛（電報）	英仏伊海軍協定の形式に関する我が政府の対英回答申入れ方について	436

七	703	昭和6年9月7日	普通 七二三	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛	浜口前首相死去につき臧遼寧省政府主席、王遼寧特派員よりの弔意伝達方依頼について	478
七	702	昭和6年9月4日	普通公 四五〇	在米田出淵大使より 幣原外務大臣宛	浜口前首相逝去に関する米国の新聞論調について	476
七	701	昭和6年9月2日	公七六三	在中国矢野参事官より 幣原外務大臣宛	浜口前首相逝去に対する漢字紙論調について	474
七	700	昭和6年8月31日	二三五	在マニラ木村総領事より 幣原外務大臣宛	浜口前首相逝去に対する在マニラ英字紙の社説について	474
七	699	昭和6年8月30日	八三〇	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	張上海市長より浜口前首相逝去に対する蒋介石の若槻首相宛弔電の転達方依頼について	473
七	698	昭和6年8月29日	公二〇二	在タイ高津臨時代理公使より 幣原外務大臣宛	浜口前首相死去に対する在タイ英文デイリーメーの社説について	473
七	697	昭和6年8月29日		蒋介石国民党総裁宛(電報)	浜口前首相死去に対する蒋介石の弔電について	472
七	696	昭和6年8月28日	普通 二三〇	在マニラ木村総領事より 幣原外務大臣宛	浜口前首相逝去に対する在マニラ英字紙の社説について	472
七	695	昭和6年8月28日	公信 一〇四九	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛	浜口前首相逝去に関する在上海新聞論評について	470
五	595	昭和6年5月22日	官房一 九一ノ二	小林海軍次官より 永井外務次官宛	海軍軍備制限条約実施法関係の改正法律について	357
七	694	昭和6年8月27日		キャッスル米田國務次官より 幣原外務大臣宛(電報)	浜口前首相逝去に対する米田政府よりの弔電について	469
五	594	昭和6年3月28日	普通 一五九	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛	一九三六年における列強海軍勢力に関する議会の討議について	356
六	675	昭和6年3月27日	一一六	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英仏伊海軍協定に対する米国の取扱に關し日本側と充分協議方國務長官同意について	458
六	674	昭和6年3月19日	五五	在米田出淵大使宛(電報)	英仏伊海軍協定に対する日本政府の見解申入れ方について	458
			別電	三月十九日幣原外務大臣より在英國松平大使宛第六三号 英仏伊海軍協定に対する日本政府の見解について		457